

## インドネシア共和国でのガス火力発電事業および運転保守サービス事業の開始について

2021年4月9日  
関西電力株式会社  
株式会社関電パワーテック

関西電力株式会社（以下、関西電力）および株式会社関電パワーテック（以下、関電パワーテック）は、メドコパワーインドネシア社（以下、メドコパワー社）※<sup>1</sup>との間で、インドネシア共和国におけるガス火力発電事業および運転保守事業分野の持続的な開発を目的とした戦略的提携に関する合意書を締結しました。

[2020年9月7日お知らせ済]

このたび3社は、本合意書に基づいた合弁会社の設立や株式の取得を完了したことから、同国におけるガス火力発電事業の運営や新規開発および運転保守サービス事業を開始しました。

関西電力グループが、プロジェクト単位ではなく、海外電力デベロッパーと共に、現地のエネルギーインフラの構築を継続的に取り組んでいく事業に参画するのは初めての取組みです。

本合弁事業への参画により、関西電力の海外事業における持分容量は合計約293万kW※<sup>2</sup>となりました。

関西電力および関電パワーテックは、本合弁事業を同国において持続的な成長を図るプラットフォームと位置づけ、エネルギー事業におけるこれまでの技術力や経験を活用しながら、発電所の建設・運用、エネルギーコスト・環境負荷の低減に関するサポートを実施していきます。

今後も電力需要の堅調な伸びが見込まれる同国における高度なインフラの構築に貢献してまいります。

※<sup>1</sup>：インドネシア共和国の大手総合エネルギー会社であるメドコエナジーインターナショナル社の電力部門を担う主要なグループ会社。積極的に発電所の開発を行う電力デベロッパーであり、同国内で総発電容量約310万kWの発電事業および運転保守事業を運営している。（2021年3月末時点）

※<sup>2</sup>：商業運転前の参画案件を含んだ値

以上

添付資料1：合弁事業の概要

添付資料2：関西電力の海外事業一覧



## 合併事業の概要

### (1) 会社概要

- ・代表者：取締役社長 フェミ・サストレナ (Femi Sastrena)
- ・事業実施国：インドネシア共和国
- ※社名は、現時点で未定。

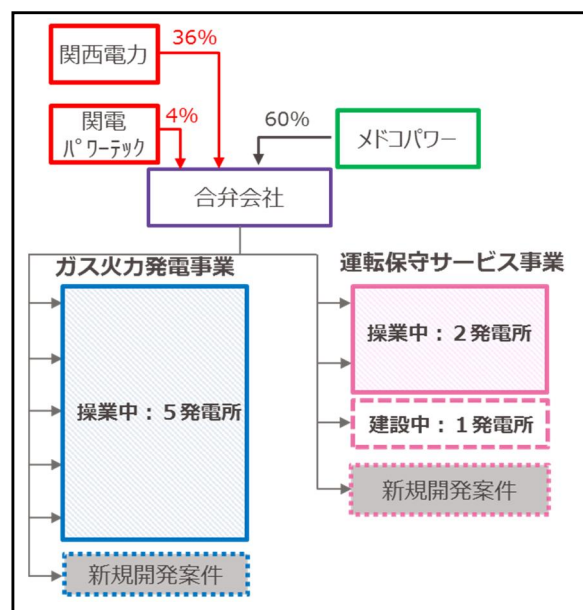
### (2) 事業概要

- ①ガス火力発電事業
  - ・保有発電所：計5箇所  
(合計出力は20.2万kW)
- ②運転保守サービス事業
  - ・実施発電所：計2箇所

### (3) 出資者構成

- ・関西電力グループ：40%
  - <内訳> 関西電力 36%
  - 関電パワーテック 4%
- ・メドコパワーインドネシア社：60%

### <本合併事業のスキーム>



### <参考：関係会社の概要>

#### ◇ メドコパワーインドネシア社

代表者：取締役社長 エカ・サトリア (Eka Satria)  
 所在地：インドネシア共和国 ジャカルタ  
 事業概要：発電事業、発電所運営・保守事業

#### ◇ 関西電力株式会社

代表者：取締役代表執行役社長 森本 孝  
 所在地：大阪府大阪市北区  
 事業概要：電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス事業等

#### ◇ 株式会社関電パワーテック

代表者：代表取締役社長 中島 宏  
 所在地：大阪府大阪市中央区  
 事業概要：火力・原子力プラントの運転・サービス

## 当社の海外事業一覧

## ＜稼働中案件：13件＞

件名 (当社参画時期)	国名	概要	出力 (万 kW)	当社出資 比率	持分出力 (万 kW)
サンロケ水力 (1998. 12～)	フィリピン	ダム式水力発電所	43.6	50%	21.8 <sup>*1</sup>
ロジャナ火力 (2003. 3～)	タイ	ガスコンバインドサイ クル・コージェネレーシ ョン発電所	50.5	39%	19.7
名間水力 (2005. 3～)	台湾	流込式水力発電所	1.7	24%	0.4 <sup>*1</sup>
国光火力 (2006. 12～)	台湾	ガスコンバインドサイ クル発電所	48.0	20%	9.6
ラジャマンダラ水力 (2012. 2～)	インドネシア	流込式水力発電所	4.7	49%	2.3 <sup>*1</sup>
セノコ火力 (2008. 9～)	シンガポール	ガスコンバインドサイ クル発電所	280.7	15%	42.1
ブルーウォーターズ火力 (2013. 2～)	オーストラリア	石炭火力発電所	45.9	50%	22.9
ナムニアップ1水力 (2013. 5～)	ラオス	ダム式水力発電所	29.0	45%	13.1 <sup>*1</sup>
ウェストデプトフォード火力 (2016. 12～)	米国	ガスコンバインドサイ クル発電所	76.8	17.5%	13.4
ヒッコリーラン火力 (2017. 8～)	米国	ガスコンバインドサイ クル発電所	100	30%	30.0
エヴァレイアー陸上風力 (2017. 11～)	アイルランド	陸上風力発電所	22.3	24%	5.4 <sup>*1</sup>
アビエータ陸上風力 (2020. 7～)	米国	陸上風力発電所	52.5	48.5%	25.5 <sup>*1</sup>
メドコパワー社合弁事業 5箇所 (2021. 4～)	インドネシア	ガス火力発電	20.2	36%	7.3
合計			775.9		213.5 <sup>*2</sup>

## ＜開発（建設）中案件（5件）＞

件名 (当社参画時期)	国名	概要	出力 (万 kW)	当社出資 比率	持分容量 (万 kW)
タンジュンジャティB火力 (2017. 3～)	インドネシア	石炭火力発電所	214.0	25%	53.5
トライトンノール洋上風力 (2018. 9～)	英国	洋上風力発電所	85.7	16%	13.7 <sup>*1</sup>
モーレイイースト洋上風力 (2018. 12～)	英国	洋上風力発電所	95.2	10%	9.5 <sup>*1</sup>
ピーパリンマキ陸上風力 (2020. 4～)	フィンランド	陸上風力発電所	21.14	15%	3.2 <sup>*1</sup>
【参考】 セントジョセフ2号火力 (2018. 12～)	米国	ガスコンバインドサイ クル発電所	(71)	(20%)	(14.2)
合計			416.04		79.9 <sup>*2</sup>

※1：再生可能エネルギー発電事業。海外における再エネ発電事業の持分容量は合計94.9万kW

※2：関西電力の海外事業における持分容量の合計は293.4万kW。

<送電事業の参画案件：1件>

件名 (当社参画時期)	国名	概要	送電容量万kW	当社持分
ノイコネクト英独連系線 (2018. 2～)	英国・ドイツ	国際連系送電線	140	18.3%

<配電・小売事業の参画案件：2件>

件名 (当社参画時期)	国名	概要	設備概要	当社持分
ニュークラークシティ 配電・小売事業 (2019. 4～)	フィリピン	配電網の構築、 保守および電力小売	送電線、変電所、 地中配電線、 スマートメーター	9.0%
エレクトリシティ・ ノース・ウエスト社 (ENW社) 配電事業 (2019. 7～)	英国	英国中西部で約 240万軒(約500 万人)の顧客への 配電事業	架空線 約12,700km、 地中線 約44,700km 変電所 96箇所	22.04% (40.0%*)

※当社、大和エネルギー・インフラ株式会社及び三菱HCキャピタル株式会社と共同で設立した日系コンソーシアム持株会社(ケーディーエム・パワー社)の持分比率。

